

平成 29 年度 横浜市立南戸塚小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

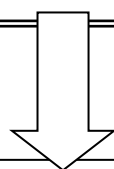
- 道徳の授業と特別支援教育の充実・発展を図ります。
- 規範意識と自己統制力を身に付け、「自己有用感」を感じることでできる子どもを育成します。
- 友だちとの学び（協働・共学）を大切にします。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学校に対して協力と支援を惜しまないたくさんの方の保護者と地域に恵まれ、子どもたちも明るく素直である。規範意識もおおむね身に付いている。しかし現状に満足してしまっていて、新たな課題に取り組もうという意識があまり見られず、自信のない児童も多い。挨拶など自分から進んでするコミュニケーションにもやや消極的な傾向にある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・学校行事・縦割活動の充実を図り、様々な集団活動を通し、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることでコミュニケーション力を高める。



指針 1 道徳教育の充実

- ・道徳教育の充実を重点課題と位置づけ、指導の充実をはかる。
- ・道徳教育について、家庭、地域に発信する。
学校だより、学年だより等にて家庭・地域に発信し、意識の啓発を図ると共に、連携して子どもを育み、家庭・地域の指導力を道徳の時間に生かす。【視点1】

指針 2 体験活動の充実

- ・運動会や校内音楽会等の行事の中で、達成感、自己有用感を味わったり、お互いを認め合ったりできるようにする。
- ・縦割り班活動、地域ボランティアなどの異年齢活動、交流活動を充実させる。「児童会活動」「委員会活動」「クラブ活動」「縦割り集団活動」「地域ボランティアとのふれあい活動」などの「異年齢集団活動」をより自主的、意欲的に行うようにする。【視点3】